

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|---|-----|--|-------|--|------|--|------|
| 指定校番号 | 29022 | 学級活動 | ○ | 児童会 | | クラブ活動 | | 学校行事 | | 小学校用 |
|-------|-------|------|---|-----|--|-------|--|------|--|------|

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

| | | | | | |
|-----|-----------|----|-------|--------|-------|
| 学校名 | 尾道市立高須小学校 | 校長 | 梶原 弘志 | 生徒指導主事 | 徳重 雄大 |
|-----|-----------|----|-------|--------|-------|

取組事例名 『行事ふり返りシート』

取組のねらい キーワード『自ら伸びる・共に伸びる』

○児童に明確な目標をもたせて行事に参加させていくことで、自分や集団を高めていくという意欲を持たせていく。

【自己決定の場を与える・共感的人間関係を育成する】

○「行事ふり返りシート」の記入を通して、個人や集団における成長や達成度を明確にし、児童の自己肯定感を高め、資質・能力の向上を図る。

【自己存在感を与える】

運動会（第6学年 組体操）
「静と動を意識した空気をつくる」



身に付させたい資質・能力

- 自己指導力（意欲を育てる、実行力を育てる、ふり返り力を育てる）
- 集団向上力（リーダーを育てる、つながりを育てる、空気を育てる）
- 社会貢献力（より良い社会をつくる意欲を持たせる、人のお役に立つ喜びを持たせる）

取組の具体的内容 キーワード『ふり返り、成長（伸び）を感じさせる』

○行事実施前に、各行事に応じた学年や学級、個人に目標をもたせていく。また、集団の目標については教師と児童との間で共通認識を図る。

【自己決定の場を与える・共感的人間関係を育成する】

○行事終了時に、「行事ふり返りシート」を書かせ、自己の成長や集団としての高まりを感じさせていく。

（書く活動を通して、しっかりとふり返り、じっくりと考えさせる。）

【自己存在感を与える】

取組の課題・創意工夫 キーワード『中間評価を書かせる』

課題

- 行事終了時に総括的にふり返ることしかできていない。
- 活動の過程において、児童自身がふり返り、取組の方向性等について修正を図ることができていない。

創意工夫

- 書く活動を通して、しっかりとふり返り、じっくりと考えさせることができています。
- 「書く活動」ということで、国語科の学習と関連させている。

取組の成果（効果） キーワード『高まり』

○児童はふり返ることを通して、自己や集団としての高まりを感じるとともに、集団への所属感をもち、自己肯定感を高めることができた。

各月の児童の自己肯定感・集団向上力についての肯定的児童の割合

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 全校平均 (%) | 85 | 91 | 90 | 90 | 91 | 93 | 95 | 94 |

運動会

音楽発表会

研究会

マラソン大会

☆肯定的に評価している児童が増加傾向にある。

☆学校行事が関係している月のポイントが高い傾向にある。

○指導者として、事前・事後の指導の充実につなげることができた。

○ふり返りシートから児童の実態を見取り、その後の指導に生かすことで、指導の効果を高めることができた。（教職員が指導の繋がりを意識する。）

今後の展開 キーワード『形成的評価』

○シートの形式を「目標」「中間評価」「総括的ふり返り」の三段構えにすることで、シート1枚で形成的・総括的評価の両面ができるようにする。

他校へのアドバイス キーワード『ふり返りの充実』

○「ふり返り」や「中間評価」を充実させることで、指導の修正を図り、活動の質を高めることができる。